

中西の独断と偏見による教育サービス別メリット・デメリット比較表

	長所	短所
塾・予備校	周りに同じ受験生が多いので刺激になる	先生に当たりハズレがある
	口頭で説明されるので頭に入りやすい(記憶に残りやすい)	1年間かけて進んでいく(自分のペースで進めない)
	受験や勉強に関する情報が手に入りやすい	必要以上に多くのテキストが配布される場合がある
	質問・相談にのってもらえる	テキストが良い内容とは限らない
	塾の進行ペースに任せればいい(信用できるなら)	自分の参考書の勉強がおろそかになりやすい
	いい先生に当たると成績が伸びやすい	春季・夏季・冬季講習の料金を別途払う
	自習室(or自習室がわりの教室)が使える	授業が多いと消化しきれなくなるリスクがある
友達を作りやすい		
個別指導	家庭教師より低価格で個別に見てもらえる(塾による)	先生に当たりハズレがある
	自分のペースで進めていける	厳密には先生:生徒=1:1とは限らない(1:2~)
	自学自習を見てもらえる	友達が作りにくい
	定期的に通うのでペースメーカーになる	
	定期的に通うので一人よりは緊張感がある	
いい先生に当たると成績が伸びやすい		
家庭教師	個別に勉強を見てもらえる	1授業あたりの料金が高い
	いい先生に当たると成績が伸びやすい	先生に当たり外れがある(交代できるところも)
	質問・相談にのってもらえる	高額な教材を購入させられる場合がある
	塾のように「通う」必要が無い	クラスの友達や周りの受験生からの刺激が無い
	定期的に来てもらえるのでペースメーカーになる	自習室が使えない
	ずっと一人で勉強するようなマンネリ化が防げる	派遣センターの教材をやる場合は自分の勉強は進まない
完全に先生と1:1なので緊張感がある(無くなる場合も)		
自学自習を中心に見てもらえることが多い		
通信教材	巷の参考書よりわかりやすい・使いやすい(ことがある)	テキストが必要以上にたくさん配布されることが少なくない
	テキストの解説がとても丁寧なことが多い	友人や先生からの刺激が無い
	質問・相談にのってもらえるところもある	相談できる場合もレスポンスに数日以上かかる
	相性が合えば毎月届くの教材がペースメーカーになる	毎月届いてもその通りにできず溜まることが多い
		消化できない場合に自己嫌悪に陥りやすい
		必ずしもテキストがいいとは限らない
		そもそも巷の参考書で十分な場合が少なくない
	教材も自分の参考書も、全部中途半端になることがよくある	
	自分一人で読んで学ばないといけない	
	薄いテキストが多くあると繰り返す気が起こりにくい	
	自分のペースで進められないことが多い	
	自習室が使えない	
ネット授業・DVD授業	自分の好きなタイミング・ペースで授業を受けられる	リアルな人からの刺激が無い
	有名・人気講師の授業を受けられることが多い	友人が作れない
	「通塾」が必要ない場合が多い(特にオンライン授業)	自由すぎて強制力が無いので意志が弱いと進まない
	好きな場所で授業を受けられる(DVDは例外有)	他のサービスより平均的に低価格のことが多い
	「巻き戻して聞く」「繰り返し聞く」ことが可能	質問・相談ができないことが多い
独学でやる自信がない科目だけ選択することも可能		
OCP	一番重要な「自学自習のパフォーマンス」が上がる	科目の知識は一切教えてもらえない
	生活全体の時間効率が上がりやすい(時間の使い方が上手)	リアルでは顔を合わせない
	他のサービスよりかなり低価格	一般に知られていない(友人・家族に説明が難しい)
	毎日・毎週の勉強計画の達成率が上がる	自習室が使えない
	仲間からの刺激を得られる	塾や家庭教師のように受身的には利用できない
	仲間のTodoリスト・勉強時間・達成率等を閲覧できる	受験情報などは得られない(周りに聞くことは可能)
	仲間の毎日の生々しい報告から刺激を受けられる	PC・スマホが極端に苦手なアナログ派の人はきつい
	仲間と相談すると回答をもらえることが大半	
	周りに宣言して自分で自分を鼓舞しやすい	
	辛いときは愚痴を書いてもなぐさめてもらえる	
	前向きなメンバーが多い(中西のメルマガ読者が多い為)	
全教科の勉強量がアップする		
他の教育サービスとの併用が可能		
周りに勉強内容・報告の全てを見られるので緊張感がある		